



市民ライターがつくる。

さがん街なかMAP

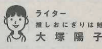


かわらばんの
WEBサイトもあるよ
www.kawaraban-web.com



03 ひとりでも誰かと一緒に あたたかく迎えてくれる場所

居場所そら



プレイルームの様子 和室の様子



手づくりのお菓子 ゲームもあります 大連り割から入れます

「たいていー」。放課後、子どもたちの元気な声が響く場所があります。そこは「居場所そら」。子どもやママ、地域の方々が気軽に来れて、自分の居場所として、多世代交流の場として利用できる空間です。老舗豆腐店が改装され、1階にコミュニティカフェと子どもたちを迎える居場所出入口を兼ねた「L terrace」、2階・3階に交流スペースやプレイルームなどが設けられています。

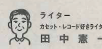
「子どもたちを中心に地域の人たちが気軽に、あそび・まよふ・たべる、つどい」ができる場を提供したい」と話すのは、この場所を運営しているNPO法人 空家・空地活用サポート SAGAの内川さん。日本財団（東京都）の助成を受けながら活動されています。「居場所そら」は小学生から高校生の子どもの気分が主な利用者ですが、大学生や留学生、障がいがある方、未就学児と保護者、地域住民の方々が利用されることもあります。そして、子どもたちが特に楽しみにしているのが、お菓子（1日3個まで）やおにぎり。おにぎりは居場所そらのママスタッフお手作り、食べられるだけ食べることができます。それらを食べながら友達やママスタッフとおしゃべりしたり、和室やプレイルームで宿題や読書をしたり、折り紙やトランプ、ボードゲームなどで遊んだり…。好きな時間に来て、自由に過ごせる空間なんです。

ライター
藤しほ子
大塚 陽子

【INFORMATION】
居場所そら 080-4465-3524 ●佐賀市唐人2丁目5-15 TOJIN館 ●開所日:開所時間/月曜-水曜・金曜の15:00~18:00(長期休暇中は時間変更) ●利用料/無料 ●定員:定員なし ●お昼時:お昼時11:00~13:00 ●Instagram @bshosora ※未就学児は保護者同伴のこと

05 ママ・パパがリフレッシュ できる場所

子育て支援センター
「ゆめ・ぼけっと」



「ボールプールへ行きな」 「おまごど楽しいな」



「すべりだい、おわくー」 バイオも来れます 絵本の読み聞かせ

「室内で安心して子どもを遊ばせたい」。そんな施設の一つがエスプラツ2階にある子育て支援センター「ゆめ・ぼけっと」。佐賀市が街なか子育て世代の居場所を作ろうと、2007年4月に開設し、今年の4月で17年目を迎えます。エスプラツと連結している立体駐車場（屋内なので雨が降っても安心）に駐車して2階の連絡通路を進むと、奥に見えます。

施設内にはボールプールや滑り台、小さなキッチンなどの遊具や絵本があり、子どもの成長によって様々な遊びができます。子ども同士と一緒に遊ぶようになって親同士の繋がりができることもあるかと。また、保健師さんに発育の相談をしたり、託児室（要予約）に子どもを預けて少し抜抜に買い物したり、託児室（要予約）に子どもを預けて少し抜抜に買い物したり…。私も、子どもを何度か連れて行きましたが、キッチンで洗い物をしたりと、ママも負けてまごどを始めてみてはいかがでしょう。

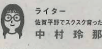
ある職員さんのお話では、「親御さんから『自分だけが悩んでいるわけでは無いと気づき、ほっとしました』と聞かされたことがあります。ここを第二の居場所として使っていただき、育児の日常を少しでも豊かにしてもらえたらと思っています」と

ライター
三浦 由美子
田中 重一

【INFORMATION】
子育て支援センター「ゆめ・ぼけっと」 0952-40-7267 ●佐賀市白山2丁目7-1 エスプラツ2F ●開所時間/10:00~17:00(休館日/日曜、祝日(土曜日は除く)、年末年始) ●定員/見守り児童室と保護室、市内の子育てに関わる関係者 ●入館料/無料 ●託児料 1時間当たり300円/人(最大3時間まで利用可能) ●駐車場/あり

04 みんなにあなたがい 街の映画館

シアター・シエマ



スクリーンがあるのでベビー車でも安心 随所につき防止の配慮があります



広々とした空間です カフェ利用もおすすめ 可愛いぬいぐるみも飛来!

暖色系のライトで包まれたロビーの受付では、スタッフの方が笑顔でお出迎。かつてシアターだった場所を利用した空間はカフェも併設され、シネマとは一味違う興味深いライティングの映画はもちろんです。カフのみの利用も可能です。ランチメニューや軽食、ドリンクのほかに手作りのワッフルとスイーツもおすすめ。また、ヴィーガン焼き菓子も販売しており、アレルギー持ちのお子さんにも楽しめます。

昨年7月には、ユニバーサルデザイン化に向けた募金によって改装工事を実施。所々にあった段差へのスロープ設置、車いすスロープ増設、トイレ改装など。ベビー車のお子さん連れや車いすの方、年配の方など、色んな人がより訪れやすい場所になっています。スタッフの方々からは「子連れの方にもっと足を運んでもらって、賑やかな空間になって欲しい」と歓迎の言葉をいただきました。あえて残された階段状のスペースでは、幼稚園くらいの子どもたちが喜んでおしゃべりしている様子も。大人も子どもも楽しめる空間を、一緒に楽しめる「フレンドリー上映会」を実施することもあそうです。

ライター
佐賀市子育て支援センター
中村 鈴那

【INFORMATION】
シアター・シエマ 0952-27-5116 ●佐賀市松原2丁目14-16 3F ●営業時間/カフェ:8:50~映画最終開始時間、ランチ:11:00~近く次々終了 ●休館日/ランチのみ週火・水・金曜(日曜は不定期営業) ●駐車場/なし

街なかかわらばん

市民ライター募集中!!



街なかかわらばんの市民ライターになると...

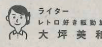
まちづくりボランティア活動(取材費あり)としての市民ライターを通して、取材先きつたり様々な人との出会いや繋がりが、街なかの最新情報をゲットできるかもしれません。参加したいときにだけ気軽に参加できるのが特徴です。ご興味ある方は、まずは編集部までお問い合わせください。

●問合せ先/街なかかわらばん佐賀編集部(まちづくり推進コミュニティ内) 0952-22-7340

エッセイ

安心して訪れることができる子育てスポット

- ・串かつ田中 佐賀駅南口店
- ・佐賀県立図書館「みんなの森」



子どもと出かける時に周りに気を遣うことが多いのですが、周りの配慮安心感が数えられることも多々あります。

子育て中の方が安心して来店できるお店として唐人町の「串かつ田中」を紹介。串かつと聞くと唐揚げ屋さんを想像しますが、こちらは軒下営業(土日祝のみ)でなんとファーストなお店です。二階にはお座敷があり、靴を脱いでゆったりとお食事ができます。驚きは、キッズメニューの中でも一際魅力的なのは「手作りたこ焼き」です。なんと小学生以下は無料。それ以外にも店員さんがじゃんけんかソフトドリンクが無料になったり、自分で作ることができるソフアイスが無料だったり…。大人も子どもも揚げたてで作りの美味しさを味わいながら、エンターテインメント性が溢れるサービスを存分に利用してみたいのが、エッセイテーマです。

そして、もう一つ、県立図書館の中にある「みんなの森」は、高齢の方から小さな子どもまでを連れて来たり、障がいのある方もみんながつながることができる場所です。子育て中の方にとって、まだ歩けない赤ちゃんにも本を読んでもらえる



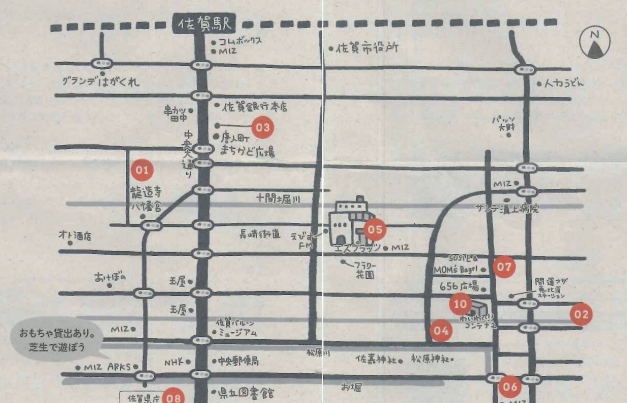
串かつ田中でのメニュー① 串かつ田中でのメニュー②



串かつ田中でのメニュー③ 県立図書館「みんなの森」でのメニュー

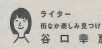
※「みんなの森」の森の手紙は、3つの本で構成した創作漢字です。

【INFORMATION】
串かつ田中 佐賀駅南口店 0952-22-2200 ●佐賀市唐人1丁目6-1
佐賀県立図書館 0952-24-2900 ●佐賀市城内2丁目1-41



06 「読書の習慣を、親子で」

まちなかライブラリー
鎌田文庫



発行部数100部以上・ミニコンテナー ●「皆さんのうちへおじゃまします!」の絵本が全てそろってコーナー



小さい目の高さにして 絵本の中の息をいかに おすすめの本がずらりと並ぶ本棚

「みずがえい」の階段を上って2階にある、まちなかライブラリー鎌田文庫。エレベーターに配置した絵本ストリートがあります。一冊一冊に対象年齢のシールを貼る工夫が施されていて絵本を選びやすくなっています。かわい小さな椅子もあり、子どもも大人もワフワフ空間です。

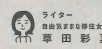
医師鎌田實先生の「読書でまを体へ健やかに」という提言にミズの上清上泰弘会長が共感・実現に至ったこの鎌田文庫は、小さい時から絵本と触れ合うと一生を通じて健やかに過ごすことが一つの目的とされているように感じました。

ライター
藤原 美穂
谷口 幸恵

【INFORMATION】
子育で文庫センター「ゆめ・ぼけっと」 0952-40-7267 ●佐賀市白山2丁目7-1 エスプラツ2F ●開所時間/10:00~17:00(休館日/日曜、祝日(土曜日は除く)、年末年始) ●定員/見守り児童室と保護室、市内の子育てに関わる関係者 ●入館料/無料 ●託児料 1時間当たり300円/人(最大3時間まで利用可能) ●駐車場/あり

07 子どもと親の心に寄り添う 絵本・児童書専門店

子どもの本屋ビビン



スタッフの方々が興味、興味、気持ちなどを汲み取り、本を選んでくださいます。その背景には子育てをする親や子どもが少しでも多く本に触れて欲しいという願いがあるように感じます。

佐賀市の中心にある呉服元町に、絵本・児童書専門店があるのを知っていますか? 子どもに向けて児童書を選びたい方におすすめなのが「子どもの本屋ビビン」です。

実は20年前、佐賀市高木瀬にあつた専門店が開店してしまっただけで、その常連だった主婦の方が立ち上げたのが、このお店。途中で場所を変えながら、現在の店舗で運営を続けています。代表の娘さんが子育てしていたのは、県立図書館しかなかった、その専門店があったことで、多くの良い本に出会うことができた、と当時のことを思い出しながら話していただきました。子どもの発達に応じて様々な絵本をお勧めしていった経験が今の活動の原点になっているという。「絵本を読み合って楽しんでいくのがお父さん・お母さんの支えになったり、子どもを信じる力になったりすると思うんです」と娘さん。

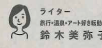
現在は絵本をお勧めする側として、ビビンに来る親御さんや子どもたちの興味あること・育っている環境などを聞いて気持ちを引き出し、寄り添ってほしいそう。他にも、より多くの人が興味を持ってもらえるよう絵本の原画展に挑戦したり、幼児のための布絵本づくりや、こどもを対象にしたお話しなども開催したりしています。

ライター
佐賀市子育て支援センター
草田 彩夏

【INFORMATION】
子どもの本屋ビビン 0952-27-8846 ●佐賀市呉服元町7-13 ●営業時間/10:00~17:00 日曜・祝日:12:00~17:00 ●休館日/火・金 ●駐車場/なし(駐車スペースあり)

08 「子連れお出かけデビュー」は 佐賀県庁周辺でいかが?

佐賀県庁地下1F
ベビールーム



壁面の絵が明るい印象を与えます 右側にはおむつ交換台



壁面の授乳室(女性専用) すぐそばにはカフェ。持ち込み可

「子育てで大変さが」と銘打っている佐賀県。そのお昼元である県庁に、お子さん連れの方に配慮した施設を!と2021年に作られました。まだ新しくキレイな室内。空もあたたかいため時期は暖か、壁面には手書き風のポップな絵が描かれていて、明るい気分になります。おむつ交換台はこの絵がある壁面に2つ。台下には、おむつを捨てるためのゴミ箱も設置されています。そして、隣にはソファや小上がりがついたスペースもあり、兄弟に待っていてもらってもいいように、ミルク派にも嬉しいお湯を沸かせるポット・シンクもあって、その奥には個室の授乳室が2つ。これらの女性専用です。ベビーカーがそのまま入っても余裕があるくらい広いので、ベビーチェアも設置されています。

また、ベビールームを出てすぐ隣にはコンビニもあります。お菓子や水なども購入できるので何かと便利ですね。そして、その奥には「SAGA CHIKA」というおしゃれなスペースもあり、カフェも併

今回紹介した場所以外にも周辺には図書館や公園もあるので、親子のお出かけデビューにおすすめしたいエリアです。

【INFORMATION】
佐賀県庁地下1Fベビールーム ●佐賀市内1丁目1-59 ●利用可能時間/平日:8:30~22:00、土日祝:9:30~22:00 ●駐車場/あり ●授乳室などの飲食可 ●営業時間 平日:8:30~17:15(参考)ファミリーマート/サカサカ 平日:7:00~20:00 カフェ:平日:10:00~18:00